

1 普及・啓発活動

(1) 講演会、セミナー

道内各地において、情報通信に関する最新の話題等についての講演会、セミナー等を実施し、ICTの普及に努めました。

「平成30年度 電波の日・情報通信月間」記念式典・交流会 【情報通信月間行事】	
日時	2018. 6. 1 (金)
主催	北海道テレコム懇談会、北海道総合通信局
会場	ニューオータニイン札幌
参加者	222名
内容	情報通信関係者をはじめ、国会議員、国の機関、地方公共団体、経済界、報道関係者などが出席し、電波の利活用やICT利活用等の発展にご功績のあった方々を表彰しました。

「電気通信事業分野における個人情報保護セミナー」 【情報通信月間行事】	
日時	2018. 6. 15 (金)
主催	北海道テレコム懇談会 北海道総合通信局 一般財団法人日本データ通信協会（認定個人情報保護団体） 一般社団法人テレコムサービス協会北海道支部
会場	TKP札幌駅カンファレンスセンター
参加者	45名
内容	<講演 1> 演題：「改正個人情報保護法の概要」 講師：新保 史生 氏（慶応義塾大学 総合政策学部 教授） <講演 2> 演題：「電気通信事業者は、改正法にどう対応すべきか」 講師：小堤 康史 氏（一般財団法人日本データ通信協会 電気通信個人情報保護推進センター 所長）

北海道映像コンテスト2018 【情報通信月間行事】	
実施時期	応募期間：2018. 4. 2 (月)～2018. 5. 15 (火) 表彰式：2018. 7. 3 (火)
主催	一般社団法人北海道映像関連事業社協会
共催	北海道テレコム懇談会、北海道総合通信局
会場	ホテル札幌ガーデンパレス
参加者	会場来場者数67名 行事参加人数200名

内容	今年で18回目となる北海道の映像コンテンツ普及と技術の向上、人材育成を目的とするコンテスト。北海道在住の映像コンテンツ製作者を対象とし、プロ・アマチュア・学生が参加し、良質な30作品の応募がありました。 本年も最優秀作品の7品が「全映協グランプリ2018」に出品されました。
----	--

「平成30年度北海道地方非常通信協議会定期総会」記念講演会 【情報通信月間行事】	
日時	2018. 6. 18 (月)
主催	北海道テレコム懇談会、北海道総合通信局、北海道地方非常通信協議会
会場	ホテルポールスター札幌
参加者	109名
内容	<p><講演> 演題：「情報通信分野における防災・減災に関する取り組みについて」 講師：総務省 総合通信基盤局 電波部基幹・衛星移動通信課 重要無線室 係長 <small>まえしま けんた</small> 前島 健太 氏</p> <p><防災関係通信機器の展示> 総務省が非常災害時に無償貸与する「災害対策用移動通信機器」、 「臨時災害放送局用機器」を展示</p>

「電波システムセミナー2018」 － 5G・コネクティッドカーなどの最新動向 － 【情報通信月間行事】	
日時	2018. 6. 28 (木)
主催	北海道テレコム懇談会、北海道総合通信局
会場	ホテルモントレエーデルホフ札幌
参加者	99名
内容	<p><講演 1> 演題：「電波政策の最新動向」 講師：総務省 総合通信基盤局 電波部長 <small>たけうち よしあき</small> 氏 竹内 芳明 氏</p> <p><講演 2> 演題：「5G が切り開く未来の展望 - パートナーの強みを融合させた世界 -」 講師：株式会社 NTT ドコモ 先進技術研究所 5G 推進室長 <small>なかむら たけひろ</small> 氏 中村 武宏 氏</p> <p><講演 3> 演題：「コネクティッドカーの最新動向と将来展望」 講師：トヨタ自動車株式会社 ITS・コネクティッド統括部 ITS 企画室長 <small>すえき たかし</small> 氏 末木 隆 氏</p>

「親子電波教室」及び「電波教室」の開催			
主催	北海道テレコム懇談会 北海道電波適正利用推進員協議会 一般社団法人全国陸上無線協会北海道支部		
開催日	会場	参加者	
2018. 5. 18 (金)	北見市	46名	【情報通信月間行事】
2018. 6. 9 (土)	岩見沢市	28名	【情報通信月間行事】
2018. 8. 14 (火)	北見市	35名	
2018. 10. 20 (土)	江別市	90名	
2018. 11. 1 (木)	白糠町	7名	
2018. 11. 3 (土)	北見市	50名	
2018. 11. 11 (日)	釧路市	20名	
2019. 1. 10 (木)	小樽市	20名	
2019. 1. 16 (水)	札幌市	9名	
内容	<p>小学生（または親子）に電波適正利用推進員が電波についてお話をし、ラジオ作成を通じ電波利用及び電波利用環境の保護に対する理解を深めていただいた。</p> <p><電波教室に参加された方々の感想（一部）> *電子レンジに電波が使われている事を初めて知りびっくりしました。 *目的別に色々な周波数が使われていることが勉強になったし、自分で作ったラジオから本当に放送が聞こえてすごくうれしい。 *自分で作ったラジオから音が聞こえて感激しました。家に帰っても聞きたい。</p>		

北海道IoT実装推進フォーラム@北見	
日時	2018. 7. 17 (火)
主催	北海道テレコム懇談会、北海道総合通信局、北見市
会場	ホテル黒部
参加者	93名
内容	<p><第1部> 講演1 「ICT/IoTの地域実装によるデータ主導社会の実現」 総務省 情報流通行政局 地方情報化推進室長 松田 昇剛 氏 講演2 「働き方改革を成功させるテレワーク」 株式会社テレワークマネジメント 株式会社ワイズスタッフ 代表取締役 田澤 由利 氏 (総務省地域情報化アドバイザー)</p>

<p><第2部></p> <p>講演1 「ふるさとテレワークからはじまるIoT活用による地方創生と人材育成」 北見市 商工観光部 工業振興課 工業係長 松本 武 氏 株式会社アイエンター 代表取締役 入江 恭 氏</p> <p>講演2 「情報科学で地域未来を支援 情報科学的IoTプラットフォームとカリッパ 情報学」 北見工業大学 地域未来デザイン工学科 准教授 榎井 文人 氏</p> <p>講演3 「灯油難民を救え！LPWA で灯油残量の可視化と地域の見守り」 ゼロスペック株式会社 代表取締役社長 多田 満朗 氏</p> <p>講演4 「地域活性化の取組 ICT/IoT ができること」 北海道総合通信局 情報通信振興課長 中嶋 英明 氏</p> <p><第3部> パネルディスカッション 『地方からイノベーションを巻き起こすには何が必要か』 コーディネーター: 北海道大学 大学院 情報科学研究科 特任教授 山本 強 氏 パネリスト: 入江 恭 氏 / 田澤 由利 氏 / 多田 満朗 氏 / 榎井 文人 氏 / 松田 昇剛 氏 / 北見市 商工観光部長 山田 孝雄 氏</p> <p><機器の展示等> 展示協力 ESRI ジャパン株式会社、NEC ネットエスアイ株式会社、 株式会社 NTT ドコモ北海道支社、 パナソニックシステムソリューションズ ジャパン株式会社</p>
--

地域映像制作ワークショップin富良野	
日時	2018. 8. 24 (金)
主催	総務省北海道総合通信局 富良野市
共催	北海道テレコム懇談会、ふるらの観光まちづくり戦略会議
会場	コンシェルジュ フラノ
参加者	19名
内容	<p>自治体職員等を対象とした地域の魅力を伝えるための映像制作講座。 地域の映像アーカイブ構築も見据えたディレクターとしての目を養うため、基礎理論をはじめ、撮影、編集等の実践技術等を学ぶカリキュラムを実施しました。</p> <p><第1部>基礎講座 「地域の魅力を伝える映像制作のポイント」 講師：有限会社マーヴェリック・クリエイティブ・ワークス 代表取締役 札幌国際短編映画祭プロデューサー 久保 俊哉 氏</p> <p><第2部> 基礎講座 「映像の基本」「映像の企画」「映像の撮影」「映像の編集」 実践講座 「ストーリーづくり」「撮影」「編集」「映像の公開」 講師：有限会社マーヴェリック・クリエイティブ・ワークス プロデューサー 倉本 浩平 氏 映画監督 芳井 勇気 氏</p>

学生向け起業セミナー ～北海道起業家甲子園2018に向けたスキルアップ講習会～	
日時	2018. 11. 17 (土)
主催	北海道総合通信局
共催	北海道テレコム懇談会、北海道情報大学
協力	国立研究開発法人情報通信研究機構 (NICT ICTメンタープラットフォーム) 北海道モバイルコンテンツ・ビジネス協議会
会場	北海道総合通信局第1・2会議室
参加者	8チーム・20名
内容	<p>道内の大学生等を対象に、ベンチャー起業家を志す次世代の人材の発掘・育成を目的としたセミナーを開催しました。ICTで社会課題を解決するため、グループ討論を行い、具体的なビジネスプラン作成に取り組み、技術指導等により12月の「起業家甲子園北海道大会2018」に向けたスキルアップを図りました。</p> <p>基調講演 「自分の人生を創造しよう！」 講師 : Team♡KATSUYA LOVE コネクター／画家 <small>かつや ひさし</small> 勝屋 久 氏</p>

地域情報化広域セミナー2018in旭川	
日時	2018. 11. 21 (水)
主催	北海道テレコム懇談会、北海道総合通信局、一般財団法人全国地域情報化推進協会
後援	北海道、旭川市
会場	旭川勤労者福祉会館
参加者	71名
内容	<p><講演> 基調講演 「政府におけるオープンデータ推進の取組状況」 内閣官房 情報通信技術 (IT) 総合戦略室 参事官補佐 <small>むねひろ いさお</small> 宗廣 勲 氏</p> <p><道内事例&活用策> 事例 1 旭川市 総務部情報政策課 課長補佐 <small>ひだ けんいち</small> 飛田 憲一 氏 事例 2 室蘭市 経済部観光課長 <small>まるた ゆきと</small> 丸田 之人 氏 (総務省地域情報化アドバイザー) 事例 3 森町 総務課情報管理係長 <small>やまがた たくや</small> 山形 巧哉 氏 (総務省地域情報化アドバイザー)</p> <p>活用策 『「地域の困った」をオープンデータで解決してみる～シビックテックの視点～』 (総務省地域情報化アドバイザー) 一般社団法人コード・フォー・ジャパン アドバイザー 株式会社 MIERUNE 取締役 <small>ふるかわ やすと</small> 古川 泰人 氏</p> <p><ワークショップ> 「一歩進めるためのオープンデータ」 ファシリテーター 株式会社 DKdo 取締役 <small>くろい りえ</small> 黒井 理恵 氏</p> <p>「(高齢者)福祉」「観光」「防災・防犯」のテーマごとに、オープンデータ推進に向けてデータ活用のグループ討議。</p>

北海道起業家甲子園2018	
日時	2018. 12. 1 (土)
主催	一般社団法人北海道モバイルコンテンツ・ビジネス協議会、北海道総合通信局
共催	北海道テレコム懇談会
協力	国立研究開発法人情報通信研究機構 (NICT ICTメンタープラットフォーム)
特別協力	No Maps実行委員会
後援	北海道、札幌市、NPO法人札幌ピズカフェ、一般社団法人北海道IT推進協会、一般社団法人北海道情報システム産業協会
会場	TKP札幌駅カンファレンスセンター
参加者	11チーム・69名
内容	<p>道内の学生が観光、生活、教育、産業等、様々な分野課題を自らのアイデアで解決するビジネスプランコンテスト。 北海道テレコム懇談会会長賞のほか、今年度から特別協賛企業賞が授与されました。</p> <p>ベンチャーに関するセミナー 演題：「楽しい起業」 講師：ムラタオフィス株式会社 代表取締役 <small>むらた としゆみ</small> 村田 利文 氏</p> <p>発表者(学校名)／[発表プラン]概要 《最優秀賞》北海道総合通信局長賞・NICT賞 ●ちーむ えす (北海道情報専門学校) [# (シャープ)] ドラッグストアや家電量販店などで使える店内、Mapアプリの提供 《優秀賞》北海道テレコム懇談会会長賞 《特別協賛企業賞: さくらインターネット株式会社 特別賞》 ●トルネコ (北海道科学大学) [小説投稿サイト「ぶくぶく」] ユーザーが小説やエッセイ、漫画などの作品を制作し、ほかのユーザーに公開及び販売できる投稿サイト 《優秀賞》北海道モバイルコンテンツ・ビジネス協議会賞 ●OK (北海道情報専門学校) [SSK] 生徒側がもつ授業に対する不満や意見をより学校側に反映してもらえるために建設的な意見を投稿できるシステム 《特別協賛企業賞: NTT ドコモ北海道支社 特別賞》 ●Etarka park (北海道科学大学) [情報提供サービス バズフル] ユーザーが商品やサービスに対して大喜利を行い、話題性を生み出す場を提供する情報提供サイト 《特別協賛企業賞: NTT 東日本ー北海道 特別賞》 ●NOVUS (北海道科学大学) [cashicaRe:] 個人間の貸し借りを取り持ち、返し忘れや、「返して欲しい!」という声を気負わずに言えるスマートフォンアプリ 《特別協賛企業賞: パナソニックシステムソリューションズジャパン株式会社 特別賞》 ●上村悠太郎 (吉田学園情報ビジネス専門学校) [牛群管理システム カウルテ] 中・小規模酪農における、牛群の管理を容易にするためのwebシステム ●WinMen's ういんめんず (吉田学園情報ビジネス専門学校) [Bridge] 中小企業をターゲットに企業間の新たな繋がりを提供するSNSアプリ</p>

<ul style="list-style-type: none"> ●北海商科大学小山内チーム（北海商科大学） [札幌ラーメンPRご当地キャラ「メン太くん」] ご当地キャラクターのイベント出演やローカルメディアやwebサイト、SNSでのPR宣伝 ●Ostium（北海道科学大学） [おえかきといっしょ] 3歳児～小学生を対象に、保護者でも安心して子供達に遊んでもらえるような、塗り絵・お絵描きアプリ ●Q-PIT（北海道科学大学） [HuMDE ハムド(Human Movement Data of Events)] イベント時の人の動きをデータ化し、来場者の一連の行動を可視化するスマホアプリ ●Cist.Lab（千歳科学技術大学） [カンプロ] 看護について、学ぶ又は学びたいと考えている学生に向けた看護現場を追体験するゲーム
--

北海道ICT/IoT実装推進セミナーin釧路	
日時	2019. 1. 21 (月)
主催	北海道総合通信局、釧路市、北海道テレコム懇談会
会場	道東経済センタービル
参加者	79名
	<p>基調講演 「災害と情報通信政策 ～ 予算編成の現場から～」 講師 総務省 情報流通行政局 情報通信政策課 調査官 川野 真穂 氏</p> <p><第1部> ICTを活用した災害対応システムの紹介</p> <p>講演1 「災害情報システム 『Lアラート』 について」 北海道総合通信局 総括調整官 兼 防災対策推進室長 臼田 昇 氏</p> <p>講演2 「被災状況をリアルタイムに把握するためのAIシステム ～ DISAANA・D-SUMMの概要～」 国立研究開発法人情報通信研究機構 耐災害ICT研究センター 応用領域研究室 上席研究員 大竹 清敬 氏</p> <p>講演3 「北海道密着型情報アプリ 『Domingo』 などを通じた 災害・防災情報発信の取り組みについて」 クリプトン・フューチャー・メディア株式会社 ローカルチーム チームマネージャー 服部 亮太 氏</p> <p><第2部> 災害対応報告</p> <p>北海道 総務部 危機対策局長 辻井 宏文 氏 北海道総合通信局 総括調整官 兼 防災対策推進室長 臼田 昇 氏 東日本電信電話株式会社 北海道事業部 設備部長 青柳 雄二 氏 KDDI株式会社 技術統括本部 札幌テクニカルセンター長 中筋 正道 氏 日本放送協会 札幌放送局 技術部 送受信技術 専任部長 平川 靖紀 氏 北海道放送株式会社 技術局 技術部長 柳沼 岳人 氏 北海道文化放送株式会社 技術局 送信技術部長 三浦 裕之 氏 株式会社エフエムくしろ 制作部 兼 技術管理部長 鈴木 直哉 氏</p>

内容	<p><第3部> パネルディスカッション 『平成30年北海道胆振東部地震の教訓と今後の対応』 コーディネーター: 北海道大学 大学院 情報科学研究科 特任教授 ^{やまもと つよし} 山本 強 氏</p> <p>パネリスト: 辻井 宏文 氏 / 釧路市防災危機管理監 ^{いししい やすし} 石井 康司 / 青柳 雄二 氏 / KDDI 株式会社 技術統括本部 運用管理部 副部長 ^{かみくち ひろのり} 上口 洋典 氏 / 柳沼 岳人 氏 / 三浦 裕之 氏 / 鈴木 直哉 氏 / 北海道総合通信局長 ^{ふじもと まさひこ} 藤本 昌彦 氏</p> <p><機器の展示等> 展示協力 国立研究開発法人情報通信研究機構 ESRI ジャパン株式会社、NEC ネットエスアイ株式会社、 株式会社 NTT ドコモ、株式会社エルムデータ、KDDI 株式会社、 ソフトバンク株式会社、パナソニックシステムソリューションズジャパン株式会社、 東日本電信電話株式会社、富士通株式会社</p>
----	---

視察会	
日時	2019. 3. 8 (金)
主催	北海道テレコム懇談会
会場	北海道テレビ放送株式会社 (HTB)
参加者	41名
内容	開局50周年を機に、南平岸から「さっぽろ創世スクエア」(札幌市中央区)に移転された北海道テレビ放送株式会社(HTB)の新社屋視察会を実施しました。

非常通信セミナー2019	
日時	2019. 3. 20 (水)
主催	北海道テレコム懇談会、北海道総合通信局、北海道地方非常通信協議会
会場	ホテルポールスター札幌
参加者	164名
内容	<p>北海道胆振東部地震及びブラックアウトによる被災状況及び対応について 報告1 放送サービス 概要報告 北海道総合通信局 情報通信部 放送課長 ^{わだ たかゆき} 和田 孝行 氏 個別事例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・株式会社 STV ラジオ 技術部長 ^{ながさか せいじ} 長坂 清治 氏 ・北海道テレビ放送株式会社 技術部長 ^{こじま のぶひこ} 小島 伸彦 氏 ・株式会社テレビ北海道 技術部長 ^{たかはし こうじ} 高橋 康二 氏 ・三角山放送局(株式会社らむれす(札幌市))代表取締役社長 ^{すぎさわ ひろき} 杉澤 洋輝 氏 ・e-niwa(株式会社あいコミ(恵庭市))編成プロデューサー ^{みうら しんご} 三浦 真吾 氏

報告 2 通信サービス

概要報告 北海道総合通信局 情報通信部 電気通信事業課長 能登部 康生 氏
個別事例

- ・株式会社 NTT ドコモ 北海道支社
ネットワーク部 災害対策室長 渡辺 利男 氏
- ・ソフトバンク株式会社 エリアネットワーク本部
北海道ネットワーク技術部長 安東 秀典 氏

報告 3 北海道総合通信局における対応等

北海道総合通信局 総括調整官 兼 防災対策推進室長 臼田 昇 氏

防災行政無線に関する緊急点検について

北海道総合通信局 無線通信部 陸上課長 伊辺 泰義 氏

まとめ 北海道総合通信局 無線通信部長 佐藤 善昭 氏

<機器の展示等>

(一般財団法人)移動無線センター、株式会社NTTドコモ、KDDI株式会社、ソフトバンク株式会社、株式会社ネクステック、北海道総合通信局

(2) 情報通信月間協賛行事

安心安全情報を発信するコミュニティ放送局のラジオ聴取とHP 閲覧の呼びかけ	
実施時期	2018. 5. 15 (火) ~ 2018. 6. 15 (金)
主催	一般社団法人 日本コミュニティ放送協会北海道地区協議会
会場	道内22のコミュニティ放送局
内容	<p>災害時に安心情報をラジオ放送とインターネット (HP等) で発信することを番組で呼びかけた。道内22局で各局50本、合計1,100本のCMを放送した。</p> <p>CMコメントサンプル (伊達市 wi-radio)</p> <p>いつも、もしも。 コミュニティ放送は、 人を繋ぐ安心メディアです。 生活情報、安心情報は、 84. 2MHz FMびゅ〜 77.6MHz wi-radio。</p>
協賛金	90,000円

エンジョイ! デジタルシニア “ICTでスマートライフ”	
実施時期	2018. 5.19 (土)
主催	新陽パソコン倶楽部
会場	札幌市立大学サテライトキャンパス
参加者	70名
内容	<p>ICTを活用したシニアライフスタイルの提案と情報提供、及びシニアの社会参画による地域活性化。</p> <p>ICT映像 北海道150年に寄せて/鹿美の森 北海道: 河原 多恵子 氏 セミナー</p> <p>① 「デジタルシニア ICTでいい暮らし 医療事前指示書と終活の注意点」 スーディ神崎和代 氏</p> <p>② 「デジタル終活 デジタル遺品トラブルに備える」 赤羽 幸雄 氏</p>
協賛金	90,000円

パソコンで遊ぼう”2018”	
日時	2018. 5. 27 (日)
主催	特定非営利活動法人 シニアネットいぶり
会場	胆振地方男女平等参画センター
参加者	35名

内容	① 写真入門講座（港まつりの花火を撮ろう） 講師 シニアネットいぶり理事長 三輪博 ② PC全般の無料相談会 ③ 会員の作品展示 ④ 画像編集（GIMP）体験コーナー ⑤ タブレット体験コーナー ⑥ 動画作成体験コーナー ⑦ 音楽CD作成講座 ⑧ 古新聞やカレンダーでエコ袋作り
協賛金	50,000円

ICT 利活用セミナー2018 ～健康で快適な生活を送るためのICT 利活用～	
日時	2018. 6. 4（月）
主催	株式会社はまなすインフォメーション
会場	岩見沢市自治体ネットワークセンター
参加者	105名
内容	<p>健康経営都市いわみざわの具現化に向けて、市民に身近なテーマである健康で快適な生活へのICT利活用として「各種健診の重要性と医療等分野における情報連携可能性」や「自分の健康状態が見えるセルフケアサポートアプリ開発」等の講演と紹介を実施。</p> <p>講師の方々と健康に関わるICT利活用の取り組み等、質疑応答も活発となり、来場した市民の方々の関心の深さを認識しました。</p> <p><基調講演> 演題：「各種健診の重要性と医療等分野における情報連携の可能性」 講師：全国健康保険協会本部 企画部長 稼農 和久 氏</p> <p><講演> 演題：「北海道大学COIが岩見沢市と目指す幸せの空間」 講師：北海道大学産学・地域協働推進機構 客員教授 吉野 正則 氏</p> <p>演題：「自分の健康状態が見えるセルフケアサポートアプリの開発」 講師：北海道大学大学院 医学研究院循環病態内科学 助教 横田 卓 氏</p> <p><紹介> 「笑顔プロジェクト」 エミプラスラボ合同会社</p>
協賛金	90,000円

町のヒミツを見える化しよう!? -GIS 体験講習会-	
日時	2018. 6. 13（木）
主催	ハウモリ
会場	森町役場
参加者	18名

内容	オープンデータとオープンソース GIS(FOSS4G)を活用した可視化と業務効率化にかかわる体験型講習会を実施。講師の MIERUNE/酪農学園大/地理空間情報技術者古川 泰人氏から森町や統計局が公表しているオープンデータを QGIS にて分析、視覚化する手段を学びました。
協賛金	37,322円

地域情報化支援 ICT リーダー育成	
日時	2018. 6. 16 (土)
主催	特定非営利活動法人くるくるネット
会場	NHKプラザμ
参加者	10名
内容	特定非営利活動法人ハードオブミラクル代表三浦喜美子さんを招き、映画「大地の花咲き」の上映会と講演会を行いました。三浦さんは、映画のディレクターとして携わっており、作品作りにおける一連の流れ（①映画の企画・撮影等の撮影秘話②ドキュメントのプロデュースの方法③インタビューの撮り方等）をレクチャーいただきました。
協賛金	90,000円

2 情報通信に関する調査及び研究

ICTサロンの実施

情報通信に関する調査及び研究活動として、最新情報、会員の役立つ情報を提供し、ディスカッション等により認識を深めてもらうことを目的に実施してきました。

第75回ICTサロン		【情報通信月間行事】
「地域でのICT活用 ブロックチェーンの場合」		
日時	2018. 6. 19 (火)	
参加者	43名	
内容	<p>講師：^{ふじい}藤井 ^{やすし}靖史 氏 公立大学法人会津大学 産学イノベーションセンター 准教授 (リサーチアドミニストレータ)</p> <p>会津若松で実証実験をされている藤井先生に、ブロックチェーンの魅力と可能性について講演いただきました。</p> <p>必要なフレームワークは「温度差から起きる対流による構造化」であること。それを踏まえて、地域における課題(温度差)である「価値交換の不具合」を解消するテクノロジーとしてプライベートブロックチェーンを実証したところ、「小さな価値循環」を手軽に生み出すことができ、この「小さな価値循環」を連結させていくと(地域)通貨と呼ばれるものになり、特定の地域やイベントで各種のレートで使える可能性があり、日本の技術(分散型台帳技術)がカンボジアで共同開発されるに至ったことは興味深い展開でした。</p> <p><参加者から寄せられた感想(抜粋)></p> <ul style="list-style-type: none">・技術的な部分が一人歩きしている部分がある中で活用の道を示していただいたように感じます。着想として大事なことは、価値の交換という部分であって、それぞれのプレイヤーが何を価値と感じるのかを再定義する必要があると思った。また、それぞれのプレイヤーが何なら提供できるかも併せて重要だと思う。・地域や小さなコミュニティからでも始められるというところがとても良くわかりました。様々なアイデアと「地域の温度差」を組み合わせることでイノベーションを起こしていきたいと思います。・分散型へ移行することは様々な分野で必然なのだと思います。情報が把握できることは、新しい価値と感じました。通貨的なものだけでなく、モチベーションとか「幸福」をやりとりできると夢のようですね。	

5 各種会議

(1) 通常総会

2018年度（第34期）通常総会	
実施時期	2018. 4. 24（火）16時～16時45分（総会） 16時50分～17時15分（施策説明）
会場	ホテルポールスター札幌
議事	2017年度（第33期）事業報告・収支決算報告・会計監査報告 2018年度（第34期）事業計画・予算案の承認・役員選出
参加者	参加人数 総会74名 講演会84名（会員のみ参加対象）
施策説明	演題：「北海道の情報通信2018」 講師：北海道総合通信局長 藤本 昌彦

(2) 運営委員会

第1回運営委員会	
実施時期	2018. 10. 2（火）14時～15時
議事	(1) 2018年度（34期）前半の事業報告について (2) 2018年度（34期）後半の事業について (3) その他
第2回運営委員会	
実施時期	2019. 3. 12（火）16時～17時
議事	(1) 2019年度（第35期）通常総会等の概要について (2) 2019年度（第35期）会長表彰について (3) 2019年度（第35期）通常総会予算について (4) 2019年度（第35期）通常総会議案について (5) 2019年度情報通信月間への参画について (6) イベント支援について (7) 2019年度 事業について (8) その他